

令和 8 年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価報告書
(令和 7 年度対象)

令和 8 年 8 月
益城町教育委員会

はじめに

1 点検及び評価の趣旨

平成 19 年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、すべての教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第二十六条の規定に基づき、令和 7 年度の教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

結果を公表することにより、町民の皆様には教育に関する事務の管理及び執行の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開等に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図っていきます。

参考：地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 自己点検・評価の考え方

益城町教育委員会としては、本町の教育の発展のために様々な事業に着手し、その結果等を踏まえて改革に取り組んできたところですが、法改正に伴い、平成20年度から教育委員会の権限に属する事務について、その管理及び執行状況の点検及び評価を行うこととなりました。

政策効果をしっかりと把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要なことです。

法の趣旨に則り、令和7年度分についても、教育に関する事務の具体的な内容の点検及び評価を行いました。

3 具体的な点検・評価の方法

事務の点検及び評価については、次の3つの項目に分類した自己点検・評価シートを作成し、重要度と実現度を組み合わせた表を活用しました。

- ・シート その1 教育委員会の活動
- ・シート その2 教育委員会が管理・執行する事務
- ・シート その3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

4 重要度の考え方

教育委員会が管理・執行する事務については、「教育長に対する事務委任規則」第1条に除外するとして列記されている“教育長に委任されていない事務”であるため、すべて「高」とします。

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務については、重点的な施策であるため、すべて「高」とします。

5 実現度の考え方

目標に対して、概ね実施できたものは「高」、ほとんどできなかったものは「低」それ以外を「中」とします。

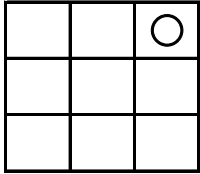
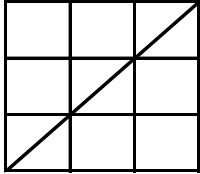
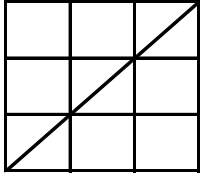
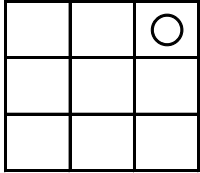
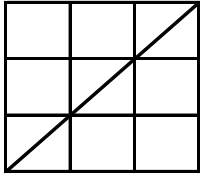
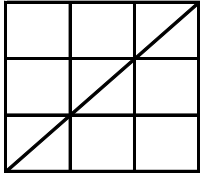
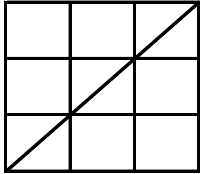
令和7年度 益城町教育委員会の自己点検・評価シート その1

大項目	中項目	小項目	点検・評価										
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議の運営に関すること	① 教育委員会会議の開催回数	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				毎月1回を原則として計14回開催した。
			○										
	② 教育委員会会議の運営上の工夫	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				会議における委員の発言を積極的に促すとともに、幅広い分野での意見を受け入れることで、各委員が事務局への意見や提案だけでなく、各地域の状況に関して相互に意見交換を行うなど、発言の活発化を図ることができた。	
			○										
	(2) 教育委員会の会議の公開等に関すること	① 教育委員会会議の傍聴者の状況	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				令和7年度中の傍聴者はなかった。傍聴については、広報のあり方などについて引き続き検討する。
		○											
② 会議録の公開広報・公聴活動の状況	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				令和7年度中の会議録の公開請求はなかった。引き続き、住民への広報・公聴活動に関して検討する。		
		○											
(3) 教育委員会と事務局との連携に関すること	① 情報提供等	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							教育長に委任された事務事業等の実施状況及び町議会関係等については、毎月の教育委員会会議の中で情報提供を行った。	
		○											
(4) 教育委員会と首長の連携に関すること	① 首長との意見交換会の実施	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							9月と2月に開催された計2回の総合教育会議において、町長に対し、教育委員会の取り組みに関する詳細な説明を行ったほか、町政を含めた幅広い意見交換を行った。	
		○											
(5) 教育委員の研修の充実	① 研修会への参加状況	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							九州地区市町村教育委員研修大会及び熊本県市町村教育委員研修大会に参加し、全委員が各自教育施策や教育行政の動向及び課題等について理解と認識を深め、資質の向上を図った。	
		○											

令和7年度 益城町教育委員会の自己点検・評価シート その1

大項目	中項目	小項目	点検・評価										
1 教育委員会の活動	(6) 学校及び教育施設に関すること	① 学校訪問	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							小中学校を対象として、総合訪問2校、経営訪問5校を実施し、全委員が出席した。児童生徒の学校生活の様子を確認した。 幼稚園での実施はなかった。
				○									
		② 所管施設の訪問	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				学校施設の状況については、入学式、卒業式、運動会、学校で実施した教育委員会会議を利用し、状況の把握を行った。
		○											

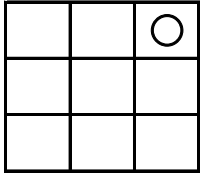
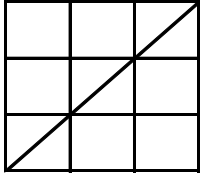
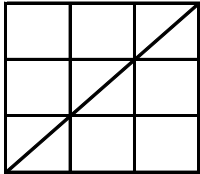
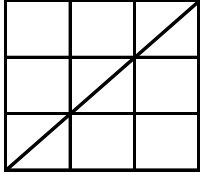
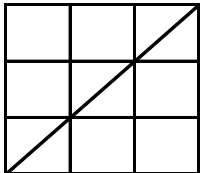
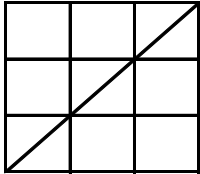
令和7年度 益城町教育委員会の自己点検・評価シート その2

大項目	中項目	小項目	点検・評価
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること	実現度 ↑  → 重要度	主要施策について、教育委員会議に諮り決定した。
	(2) 学校、公民館及び図書館の設置及び廃止を決定すること	実現度 ↑  → 重要度	令和7年度中の該当事例はなかった。
	(3) 学校その他の教育機関の施設、設備、組織編制、教育課程、教科書その他教材の取り扱いその他管理運営の基本方針を定めること	実現度 ↑  → 重要度	令和7年度中の該当事例はなかった。
	(4) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教職員たる校長の任免その他の進退について内申すること	実現度 ↑  → 重要度	令和7年4月の人事異動に際し、校長1名及び教頭を含む教職員53名の異動の内申を行った。（管内15名、管外転入16名、昇任5名、新採6名）令和7年度における懲戒事案は1件であった。
	(5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること	実現度 ↑  → 重要度	益城町立小中学校管理規則第21条から第29条に規定するとおりとする。令和7年度中の変更はなかった。
	(6) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと	実現度 ↑  → 重要度	令和7年度中の該当はなかった。
	(7) 教育長及び教育委員会所属職員の任免を行うこと	実現度 ↑  → 重要度	令和7年度中の所属職員の任免はなかった。

令和7年度 益城町教育委員会の自己点検・評価シート その2

大項目	中項目	小項目	点検・評価										
2 教育委員会が管理・執行する事務	(8) 教育委員会の規則及び訓令の制定又は改廃を行うこと	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							「益城町立学校創立記念事業等補助金交付要綱」を制定したほか、「益城町文化会館条例の一部を改正する条例」、「益城町交流情報センター条例施行規則の一部改正」、「益城町学校給食センター運営要綱の一部改正」を行った。	
			○										
(9) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							6月定例会提出議案 (R7補正予算、工事請負契約〈広安西小学校トイレ改修工事2期〉、益城町ふるさとづくり施設整備事業補助金条例の一部を改正する条例の制定) 9月定例会提出議案 (R6決算認定、R7補正予算、工事請負契約〈益城中学校普通教室棟増築工事〉) 12月定例会提出議案 (R7補正予算、工事請負契約変更〈広安西小学校トイレ改修工事2期〉、益城町文化会館条例の一部を改正する条例の制定) 3月定例会提出議案 (R7補正予算、R8当初予算、公の施設の他の団体の利用に関する協定の締結) 以上について、それぞれ原案どおり決定した。		
		○											

令和7年度 益城町教育委員会の自己点検・評価シート その2

大項目	中項目	小項目	点検・評価	
2 教育委員会が管理・執行する事務	(10)	社会教育委員、公民館運営審議会委員、学校給食センター運営委員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、文化財保護委員、文化会館運営審議会委員、就学指導委員会委員、公民館分館長、交流情報センター運営委員会委員及びスポーツ推進委員会委員を委嘱すること	実現度 ↑  → 重要度	学校給食センター運営委員18名、学校医11名、学校歯科医7名、学校薬剤師2名の委員を委嘱した。交流情報センター運営委員会委員4名を委嘱した。文化財保護委員3名を委嘱した。
	(11)	文化財の指定及び解除並びに修理又は復旧の勧告及び現状変更の許可を行うこと	実現度 ↑  → 重要度	令和7年度中の該当はなかった。
	(12)	学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	実現度 ↑  → 重要度	通学区域については、益城町立学校の通学区域に関する規則の規定のとおり。令和7年度中の変更はなかった。
	(13)	審査請求、異議申立て及び訴訟に関すること	実現度 ↑  → 重要度	令和7年度中の該当事例はなかった。
	(14)	益城町情報公開条例又は益城町個人情報保護条例に基づく開示・不開示等の決定に関すること	実現度 ↑  → 重要度	令和7年度中の該当事例はなかった。
	(15)	前各号に掲げるもののほか、特に重要な事案に関すること	実現度 ↑  → 重要度	令和7年度中の事案はなかった。

令和7年度 益城町教育委員会の自己点検・評価シート その3

大項目	中項目	小項目	点検・評価										
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(1) 学校教育の充実	① 教育環境の充実	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				小中学校の管理備品及び授業等に使用する各種教材備品の整備に努めた。 経済的な理由によって、就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、就学援助費を支給した。 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励を図るため、特別支援学級奨励費を支給した。
				○									
② 学校施設の整備	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				学校施設長寿命化計画に基づき、改修工事等を実施した。 飯野小：給水設備改修工事 プール改修工事 広西小：特別支援教室設置改修工事 トイレ改修工事（Ⅱ期） 木山中：特別支援教室昇降口設置 その他工事		
		○											
③ 教育内容の充実	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				小中学校の第1学年の学級（20人以上）に、個々の児童・生徒の望ましい基本的な生活様式及び基本的な学習態度を身につけさせるため、担任を補助する職員を配置。同時に、学年を問わず授業や生徒指導など課題に応じた児童生徒の対応や図書館業務を支援する職員を各学校に1名ずつ配置。 また、学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導に充てるために、学校教育指導員1名、英語教育指導員1名を事務局に配置し、訪問による指導等を随時行った。		
		○											
④ 豊かな心を育む教育の充実	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				適応指導教室の不登校支援員を2施設に8人配置することで、不登校児童生徒の再登校へ向けた支援を強化し、不登校児童生徒を出さない取り組み、生徒指導上課題のある児童生徒の健全な成長を促すための工夫等を推進する事業を実施した。 また、読解力、思考・判断の基礎となる読書習慣の定着に取り組んだ。 GIGAスクール構想推進のため、ICT支援員と連携を強化した教職員のスキルアップを通して、1人1台タブレットを活用した授業の展開を図り、町全体としてのICT教育の底上げを行った。		
		○											

令和7年度 益城町教育委員会の自己点検・評価シート その3

大項目	中項目	小項目	点検・評価										
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(1) 学校教育の充実	⑤ 体育・健康教育の充実	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				益城町学校保健会が行う、実践活動事業に対して、運営補助金を交付した。（家庭、地域、学校、幼稚園、保育所が連携して進めた。
				○									
⑥ 特別支援教育の充実	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				特別支援教育連携協議会において、発達障がいを含む障がいのある幼児、児童生徒に対する適切な教育支援のため、実務担当者会議やコーディネーター会議及び非常勤職員等研修会を実施した。 小中学校の通常学級に在籍する障がいのある児童生徒に対し、食事、排泄、教室の移動補助等学校における日常生活動作の介助を行ったり、発達障がいの児童生徒に対し、学習活動上のサポートを行ったりする特別支援教育支援員を各小中学校に配置した。 タブレット端末の貸与を行い、当該児童生徒の学習意欲に良い影響が及ぶよう個々の必要な支援に応じた活用を図った。		
		○											
⑦ 教職員の資質の向上	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				新任教員に対して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を会得させることを目的として、初任者研修会を2回実施した。 主に2・3年目の教職員を対象に授業を参観しての指導を行い、指導力向上を図った。 35歳以上の教職員に対し、中堅教員等研修会を5回開催し、幅広く資質の向上を図った。 ICT機器の効率的活用及びGIGAスクール構想により整備した1人1台のタブレットを更新し、授業への効率的活用を推進するためICT支援員と連携しながら、研修会の開催やヘルプデスクの設置等によるサポート体制を構築することで教職員の資質向上を図った。		
		○											

令和7年度 益城町教育委員会の自己点検・評価シート その3

大項目	中項目	小項目	点検・評価										
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(2) 生涯学習の推進	① 生涯学習活動の充実	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				公民館講座は、通年を5講座、単発を12講座実施した。 益城町人権・同和教育推進協議会は、通常どおり各部会及び総会を開催した。また、令和6年度に策定した第3次益城町子ども読書活動推進計画に沿って、読書活動の啓発に努めた。
				○									
② 生涯学習施設の充実	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							改修や修繕が必要な自治公民館12か所13件に、益城町ふるさとづくり施設整備費補助金を交付した。 熊本地震により被災した中央公民館機能を有する「地域共生センター」の整備が完了し、令和7年4月から複合施設として供用を開始した。 また、交流情報センターでは、令和6年度に策定した第3次益城町子ども読書活動推進計画に沿って、読書活動の啓発に努めた。		
		○											
③ 芸術・文化の創造と文化財の保存活用	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度						○				新たに国登録有形文化財として、「有馬家住宅蔵」が指定された。 指定文化財の保存・活用に係る事業として、「飯田山常楽寺鐘楼・山門」、「潮井神社」、「赤井城」の再建に対し指定文化財等災害復旧事業補助金を交付した。 国天然記念物「布田川断層帯」（杉堂・堂園・谷川地区）の保存整備工事を実施した。		
		○											
④ 体育・スポーツの振興	実現度 ↑ <table><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							町民へのスポーツをする機会の提供のため、各種団体等と協力をしながらスポーツイベントを実施した。 また、熊本地震前と同等回数のイベントの開催を行った。 【主な開催イベント】 ジョギングフェア ナイターモルック大会（雨天中止） きまみにスポーツ・健康フェスタ こども相撲教室（旧高遊原相撲大会） 益城公認ロードレース大会 リレーマラソン（旧益城一周駅伝） ましき朝飯トレイル		
		○											

令和7年度 益城町教育委員会の自己点検・評価シート その3

大項目	中項目	小項目	点検・評価										
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(3) 学校給食の充実	① 学校給食の充実	実現度 ↑ <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							必要となった調理設備の修繕等及び備品の購入を行い、安全かつ安定的な学校給食の提供を図った。 給食センター栄養教諭が各学校に出向き、給食配膳のようすや喫食状況を確認した。 また、町内小中学校に対し食育に関する授業を実施した。 保護者へ向けて「食育だより」を配布、家庭での食育に関する啓発や、「献立表」を毎月発行・配布するとともに、毎日の給食（写真）を町HPに掲載することで、学校給食に対する関心を継続的に持ってもらおうよう努めた。 食物アレルギーを有する児童生徒への対応について、「益城町学校給食食物アレルギー対応委員会」で十分に検討を行い、「学校における食物アレルギー対応マニュアル」に沿ってより細やかな対応に努めた。
				○									
(4) 新しい時代に対応する教育の充実	① 環境教育の推進	実現度 ↑ <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							公害について社会科で学ぶ小学5年生に対し、公害被害から環境再生へと立ち上がる水俣の姿を、現地を訪問して学習することになっている。 この体験学習を通して、児童が自ら課題を見つけ、情報収集する主体的な調べ学習を行い、さらには、判断し、行動を起こすことができるような教育の質的な高まりを期しており、令和7年度も、各学校において環境学習を行った。	
		○											
		② 国際理解教育の推進	実現度 ↑ <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							小中学校に、益城町教育委員会ALT（外国語指導助手）3名を派遣し、英語によるコミュニケーション能力の育成や異文化への理解を深めるため、ALTを活用した授業を展開している。 また、町は英語活動指導員を雇い入れ、2人による小学校英語活動の充実が進んでいる。 令和7年度は、学校と台湾との国際交流事業としてWebを活用した交流会を3回実施することができた。
		○											

【 総合評価 】

1. 教育委員会の活動及び教育委員会が管理・執行する事務については、令和7年度も学校訪問等を実施し活動の維持に努めた。
また、会議においては、全ての分野について基本方針や施策を示し、付議された議案に対して実態把握・点検・指導助言等を適切に行い、適正な教育委員会運営に努めた。
2. 施設の長寿命化および教育環境の向上を目的として、飯野小学校の給水設備改修工事、広安小学校の給食配膳室・廊下床改修工事、津森小学校の屋内運動場昇降口屋上防水改修工事、広安西小学校のトイレ改修工事（Ⅱ期）ならびに特別支援教室設置改修工事、木山中学校の特別支援教室昇降口設置その他工事を実施し、児童生徒の安全確保と利便性の向上を図った。飯野小学校のプール改修を行うことで、施設の機能維持を図った。
また、例年同様、教材及び備品の購入を行うとともに、令和3年度末に整備した1人1台タブレットを有効に活用した授業を推進するため、研修会の実施等による教職員のICT教育のスキルアップを通して、全体的なICT教育環境の充実を図った。
不登校児童生徒への対応としては、不登校支援員の配置を維持し、学校復帰を見据えた居場所づくりと支援体制強化を図った。
また、不登校支援「フレンドネット」の拠点施設として、木山中校区に「みんなの家」、益城中校区に「YPみらい家」を整備を行った。
児童生徒、保護者の心のケアについても、引き続き実施した。
3. 社会教育施設については、令和7年4月から地域共生センターを供用開始した。
公民館講座については主催講座をはじめ、指定管理者との連携により生涯学習の充実に努めた。
文化財保護行政では、益城町交流情報センターミナテラスにおいて企画展示『戦争の時間旅行者（タイムトラベラー）』を開催した。
また、布田川断層帯（堂園・杉堂地区）の保存整備が完了し、供用を開始した。以上のように町民が文化財等に触れる機会を創出した。
交流情報センターにおいては、これまで「会議室」を一時的に「学習ルーム」として使用していたが、常設の「学習ルーム」としての本格運用を開始し、新たに整備する「子ども図書館」のコンセプト及び整備内容の検討を行った。